



中国電影大観



變臉(へんめん) この權に手をそえて (變臉 / The King of Masks)

2007(平成19)年11月18日鑑賞(シネ・ヌーヴォ)



監督・製作=吳天明ウーティエミン / 出演=朱旭チュウ・シュイ / 周任瑩チュウ・レンイン / 趙志剛チャオ・チーガン / 張瑞陽チャン・レイヤン / 陳莉チェン・リー (東映配給 / 1996年中国、香港映画 / 101分)

……「^{へんめん}變臉」ではわからないが、「変面王」と書けばその意味は一目瞭然。四川省の長江のほとりに生きるピン芸人の芸は、とにかく一見の価値あり！物語は、その芸の承継のため孫を買ったところから面白くスタート。四川劇のアーティストとの心の交流と、後半の孫の誘拐をめぐるサスペンスタッチの展開は面白い。8歳の女の子周任瑩チュウ・レンインの熱演にあなたはきっと胸キュンとなるはず……。これぞ中国映画！ の良さを堪能させてくれること確実！

舞台は？ 時代は？ 主人公は？

時代は1920年代。舞台は四川省長江のほとり。そして主人公は、変面王と呼ばれる大道芸人のおじいさん(朱旭チュウ・シュイ)。彼の変面という芸は、さまざまな隈取りをした仮面(マスク)を瞬時に取り替え、百面相を客の前に披露していくというもの。

このおじいさんの悩みは、一人息子に先立たれたため、芸を承継する男子がいないこと。そのため、とうとうある日、人身売買が行われている巢窟へ出かけていき、1人の男の子を買ったが……。

もう1人のアーティストは……？

清代に安徽省で発祥した、中国の伝統的な古典演劇の1つ京劇は北京を中心に発展したが、四川省の伝統的な古典演劇が川劇。そして、今人気を集めているのが、人観音様と呼ばれている女形のリャン・スーランせんげき(趙志剛チャオ・チーガン)。

ピン芸人の変面王と違ってこちらは大きな劇団の花形スターだから、変面王とは全

然格が違う。しかし、真の芸人は真の芸人の真の芸を知るもの。ある日、変面王の変面劇をつぶさに見たリャンは、その芸に感心し、「私の劇団で演じないか？」と話を持ちかけたが、変面王はやんわりとその話を拒否。さて、その理由は……？

誇りをもった真のアーティスト同士の話し合いは、いつ見ても気持ちがいいもの……。

「急須の注ぎ口」はついてる……？

宝塚歌劇は女の園で男子禁制だが、日本の歌舞伎など多くの伝統芸能は男の世界で、女人禁制のものが多い。ましてや、時代が1920年代ともなれば、リャンの劇団でも変面王の変面というピン芸の世界でも、伝統の芸を受け継ぐのは男だけで、女はダメ。

したがって、変面王が「子供買い」に出かけた時も、その第1条件は男の子であること。「帯に短し襷に長し」状態で悩んでいた中、最後に「おじいちゃん」と声をかけてきた男の子がクワ・ワー 狗 娃 (チョウ・レンイン 周 任 瑩)。その子の売主はえらく高い値段をふっかけてきたから、おじいさんは「私がそんな金持ちに見えるか」と断るとすぐに値段は半額になったが、それでも話にならないと立ち去ろうとした変面王に対して、再度「おじいちゃん」の声が。すると、なぜか変面王はその声とその子の表情に惹かれてしまっていた。

変面王の家は長江に浮ぶ船の中。変面王は大満足でこの子を歓迎し、一緒に布団の中で眠りに落ちたが、途中「おしっこ」のため起き出したこの男の子は……？

今夜のおしっこではバレなかったものの、ある日、あるハプニングの中早く小便を出してくれと頼まれて困ったのが、実は女の子だったクワ・ワー 狗 娃。「急須の注ぎ口」がついているか、いないかで大違い！

「おじいちゃん」から「ご主人様」へ

変面王がおカネで買ってまで孫をつくろうとしたのは、何よりも誇りをもっている変面という芸を承継させるため。ところが、男の子であることという第1条件を子供に騙されたとあって、変面王が許せないのは自分のバカさ加減。そこで、クワ・ワー 狗 娃に対しては「カネをやるからどこへでも行け」と言い放ったが、変面王を慕っているクワ・ワー 狗 娃は水の中に飛び込んでまで船に残ろうと必死……。

そんなクワ・ワー 狗 娃の姿を見た変面王は、仕方なく孫としてではなく、小間使いとして

クローワー
 狗 娃を置いておくことに。そのため以降、変面王の呼び方もそれまでの「おじいちゃん」から「ご主人様」に……。

🎬 2人（3人？）の関係は順調に見えたが……？

変面王は女の子のクローワー
 狗 娃に対して、私が何度か上海雑技団の子供たちの演技で見たようなアクロバットの雑技を仕込み、クローワー
 狗 娃も一生懸命それをマスターしていったから、今では仲間の猿と共に前座くらいは張れるようになった。またクローワー
 狗 娃は、掃除・洗濯・炊事はもちろん変面王の「背中かき」などもソツなくこなすため、2人（3人？）の関係は結構順調……。

ところが、変面王が留守の時、クローワー
 狗 娃がこっそりそのマスクを顔につけて変面のテクニックを研究していると、ロウソクの火がマスクに燃え移り、さらにわらの上に落ちたから大変。たちまち火の手は広がり、船の中は一面火の海に……。「ご主人様、ご主人様」とクローワー
 狗 娃は叫んだが……？

🎬 後半は、弁護士の評論の視点も必要に……？

1980年代に西安映画製作所で張 藝 謀チャン・イーモウらを迎え、第5世代監督を育て、支援したのが呉 天 明監督ウー・ティエンミン。また、彼が張 藝 謀チャン・イーモウの俳優としての資質に目をつけて監督したのが『古井戸』（87年）だが、これはかなり重厚な問題提起作。それに比べて、この『變臉 この懼に手をそえて』はきわめてハートフルに、変面という芸を通したおじいさんとクローワー
 狗 娃との心の交流を描く映画。

呉 天 明監督の映画のつくり方は実にうまい！ それは、映画の後半リヤンの公演終了後の混乱の中、観客の1人が連れていた小さい男の子天賜ティエンシー チャンルイヤン（張 瑞 陽）が、誰かにさらわれてしまうという事件を絡めたこと……。そのため、この映画は後半に入ると突然サスペンスタッチの展開となるため、弁護士の評論の視点も必要に……？

🎬 誘拐事件、死刑判決そして……

もっとも、映画を観ている私には、この誘拐事件と船を火事にしてしまったため船に戻れないクローワー
 狗 娃が汚い服と荒れた目でまちをさまよっている姿が、なかなか一致しなかった。しかし、クローワー
 狗 娃まで人買いの手にかかり、ティエンシー
 天 賜と一緒に閉じ込められてしまうと、やっと話の筋が見えてくることに……。

そしてここから、①決死の脱出劇の決行、②変面王に待望の男の孫が登場、③誘拐事件の届出と変面王の逮捕そして死刑宣告、④^{クワン}狗 娃のリャンを通じた懸命の助命活動等のストーリーがスリリングに展開していくので、それは是非あなたのものである。

21世紀となった今でも中国の法制度やその運用にはさまざまな問題があるが、1920年代の四川省の刑法や刑事訴訟法のレベルは無茶苦茶で、変面王は完全に冤罪で、数日後には死刑執行を迎えるというひどいもの。そんな中、リャンの警察署長に対する助命嘆願も功を奏しなかったため、今や変面王の命は風前の灯火。さてそんな時、大屋根の上にのぼった^{クワン}狗 娃は、一体何をしようとしているのだろうか……？

1度だけ観た川劇にチャレンジ

^{クワン}狗 娃は1度だけおじいさんと共にリャンが人観音様になる劇を見せてもらっていた。それは、ある男が無実の罪で逮捕され処刑されようとしているところに、娘が上方から縄につるされた状態で登場し、裁判長に対して父親の助命嘆願を願い出るもの。そして、もし願いを聞き入れてくれない場合は、縄を切って自分も父親と共に死にますと訴える悲劇モノ。

それをこけおどしと見なされて無視されたリャン演ずるその娘は、自らナイフで縄を切り、真っさかさまに地上に落下して死んでしまった。もっとも、その直後娘は人観音様として復活するわけだが、それが子供の^{クワン}狗 娃には理解できず、^{クワン}狗 娃はおじいさんに対して「なぜあの娘は1度死んだのに、生き返ったの？」という質問に。そこで、変面王は「あれは生き返ったのではなく、人観音様になったのだ」と教えたから、利口な^{クワン}狗 娃はそれがずっと頭の中に残っていたよう。

万策つきた今、^{クワン}狗 娃がチャレンジしようとしているのは、あの劇の中でリャン扮する娘がやっていたのと同じこと。つまり、ロープで自分の足をくくりつけ大屋根の上から自分の身をつるして、警察署長の前に登場し、変面王の助命嘆願を願い出て、もしダメなら自分でロープを切ると迫ったわけだ。そんな^{クワン}狗 娃の決意をリャンはすぐに理解したが、鈍感な署長はあの劇における裁判長と同じように「どうせこけおどしだ」と決めつけて、その場を立ち去ろうとしたから、ついにここに、サスペンスタッチの展開は頂点に……。

悲劇を期待……？ それともハッピーエンドを……？

大屋根の上から一直線に落ちてくる狗娃^{クワン}をリャンは身を挺して受け止めたが、
 狗娃^{クワン}は倒れ込んだまま。リャンはそんな狗娃^{クワン}を両手に抱いて、警察署長に対して腹
 の底をぶちまけた本音の発言を……。さて、それによって警察署長の心は動くのだろ
 うか……？ また、他の誘拐事件の罪まで一緒にかぶせられるというバカげた変面王
 の冤罪事件はひっくり返るのだろうか……？ さらに、この映画の本来のテーマであ
 る変面王の芸の承継はどうなるのだろうか……？

このクライマックスの局面で予想されるのは悲劇的な結末のようだが、あなたが期
 待するのはハッピーエンド的結末のはず……？ 果たして、張藝謀^{チャンイーモウ}らを育てたあの
 呉天^{ウーティエンミン}明監督は、いかなる結末を用意しているのだろうか……？

2007(平成19)年11月19日記

ミニコラム

SHOW-HEY とゆく『胡同のひまわり』



地下鉄前門駅から少し南に歩くと広がる
 大柵欄街。有名な①薬屋「北京同仁堂」、
 ②お茶屋「張一元茶屋」、③靴屋「内聯
 昇鞋店」などが。



什刹海公園にある有名な四合院の中庭

2008(平成20)年4月7日